

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数
1. 理念の共有	8
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	1
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	0
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1
1. 一人ひとりの把握	0
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1473400487
法人名	医療法人桜城会
事業所名	グループホーム友愛
訪問調査日	2017年1月24日
評価確定日	2017年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400487	事業の開始年月日	平成16年8月1日
		指定年月日	平成18年4月1日
法人名	医療法人桜城会		
事業所名	グループホーム友愛		
所在地	(〒246-0037) 横浜市瀬谷区橋戸3-26-6		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	1ユニット
自己評価作成日	平成29年1月5日	評価結果 市町村受理日	平成29年7月20日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気のもとで、人格を尊重し個人の能力にあった生活を求める

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成29年1月24日	評価機関 評価決定日	平成29年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①このホームの経営母体は、医療法人桜城会です。医療法人桜城会は、グループホームの他、友愛歯科医院も運営しています。グループホーム友愛は、一昨年の暮れに、従来のホーム所在地から約100m離れたこの場所に新築移転しました。この場所は、ホーム前に橋戸南公園があり、公園の独り占めを彷彿させるような恵まれた環境にあります。ホームは、相鉄線瀬谷駅から徒歩15分程度の住宅地にあり、静かな環境の中に位置しています。ホームの建物は、木造1階建てで、9部屋の1ユニットであり、広いリビング・ダイニングを有したモダンな造りです。理念は、「家庭的な雰囲気と真心で自立のお手伝い」を継承し、困っている人を助けてあげたいとの管理者の想いに沿い、その時点でも、今回の介護保険料の実質値下げについても、当面、家賃据え置きで、運営に尽力しています。

②このホームの特色の1つに、職員のチームワークの良さがあります。経営者でもある管理者は、開所以来変わらず現場に出ています。職員の雇用は、これまで一般公募で募集した事がないというように、個人的な伝手を通して採用された職員で構成されています。管理者の人柄も功を奏し、職員は長年の勤務者が多く、稀に職員が退職する場合でも、自分の後任を紹介するという慣習もあるほど、信頼関係が確立しており、職員は生き生きと楽しく働いています。利用者の重度化による介護業務の困難さは、チームワークと必要時には日中4人の手厚い勤務体制を配置する等の工夫をして、利用者へのサービス提供を確保しています。目の前の公園では、近所の方が「どのような施設？」と見学者も増え、ボランティアに来てくれる人も増えたことは嬉しいことです。

③ホームでは、行政の薦めもあり、介護相談員を受け入れています。管理者は、相談員に特定の利用者をマンツーマンで対応して頂くようお願いした所、少しづつ、その方が改善されたケースも経験しました。地域との交流では、以前の所在と現在の所在における自治会加入において、特例で両自治会に受け入れられ、南公園で行われる自治会主催の恒例の夏祭り等には、従来通り出席し、現自治会との絆も更に深まり、良好な関係作りができ、利用者も参加して楽しみにしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム友愛
ユニット名	

Ⅴ アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	私達は家庭的な雰囲気のもとで個人の人格を尊重し、自立のお手伝いをします。の理念のもと自立に向けてのサービスに心してる。	このホームの理念である「家庭的な雰囲気」、「人情の尊重」、「自立のお手伝い」を額に入れて玄関に掲示し、実践しています。管理者は、利用者を自分の父・母と接するような対応を心がけるよう日頃から職員に指導しています。職員は、勤務歴が長く、理念を認識しており、利用者との信頼関係が築かれています。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	消防訓練や、避難訓練にも参加していただき、運営推進会議や夏祭り、公園の掃除等にも積極的に参加してる。	自治会は元の所在地の自治会にそのまま加入し、行事にも従来通り参加しています。夏祭りは前の公園で行われ、フランクフルト、焼き鳥などの模擬店を出して協力しています。利用者も買い物に出ています。公園の掃除等にも積極的に参加してます。老人会には、利用者個々が加入しており、老人会主催の「お誕生日会」、自治会主催の「夏祭り」に参加しています。ボランティアでは入居者の家族が所属するフラダンスの方々もホームに来てくれています。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新しく昨年引越したため近所の方にGHとはどんなところか通りすがりの方にもホーム内に入って頂いている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で夏祭りに協力し積極的にホームの人員を派遣した。	運営推進会議は、2か月に1回のペースで実施出来ています。メンバーは町内地区会長・町内地区副会長・民生委員・介護相談員・ご家族とホーム関係者となっています。ホームの状況、行事予定と実施状況について報告し、メンバーから地元の行事を紹介頂いています。ご家族の出席は生活保護の方が多いこともあり、難しい状況でもあります。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	瀬谷区連絡会や横浜市連絡会にも進んで酸化している。	区の行事や介護相談員の受け入れモデル事業で、瀬谷区と連携しています。また、介護相談員の対応により、成果が得られたケースがありました。入居者は、生活保護の利用者が比較的多く、生活保護課との関係も密接です。瀬谷区のグループホーム連絡会、横浜市グループホーム連絡会分科会などで管理者は役員を引受け活躍しています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員すべてが共有しその様なことがありえないホームだと自覚している。	身体拘束や虐待についての行政の会議や講習会・研修会に参加し、3原則を徹底し、身体拘束のないケアを行っています。夜間転倒の恐れのある利用者は、ベッドを避け、床に布団を敷いて寝て頂いたり、目の届くリビングで休んで頂く等、普通のご家庭と同じような対応で支援しています。職員全てが共有し、拘束はありえないホームだと自覚しています。玄関の鍵は、日中開放しています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	市の会議や講習にも参加して承知してる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じてそう勤めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必要に応じてそう勤めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	必要に応じてそう勤めている。	生活保護の利用者が比較的多く、ご家族に縁が薄い為、ご家族の面会は、ごく一部の利用者に限られています。ご家族の面会時には、お話を伺い、要望を聞いてホームの運営に生かしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議のほか、飲み会等で意見や要望を言いやすい、環境を作って反映してる。	毎月一度は、ケース会議か職員会議を開催し、職員から忌憚のない意見を聞いて、可能な改善策は実施しています。日頃から管理者と職員のコミュニケーションは良く、問題が発生した時は、すぐに管理者に何でも相談出来る人間関係が構築されています。年末には、職員の家族も含めて恒例の懇親会を行い、チームワークの維持に役立っています。移転により、ゴミ処理のやり易さ、バリアフリー、車いす走行性など大幅に改善され、利用者に快適な支援が行われています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	そのようにつとめている。結果ここ数年離職者がゼロである。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部教育機関等に出席した場合は費用負担している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	旭瀬谷の数件のホームで月1回の勉強会を開催してる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所の不安をなくすようCMや担当者を決め集中的に対話して不安解除に勤めてる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	そのように必要に応じ勤めてる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	そのように必要に応じ勤めてる。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族と思い付合うようにしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	そのように必要に応じ勤めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	そのように必要に応じ勤めている。	今まで付き合ってきた方が、面会や宿泊にいつ来訪されても、歓迎するようにしています。新しい地域で、地域の方との交流が生まれてきています。生活保護の人には故郷や、遠方を考慮し、以前に浦舟ホーム（特養）に入居していた利用者に配慮し、お知り合いをお連れしたケースもある等、支援に努めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方は各人の部屋で集まって談話している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じてそうしている。病院に転居された方の家族などは面会のかたわらホームにも顔をだしてくれる。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	買い物等は個人的に行き本人の好みを重視した、個人外出をとるようにしている。	思いや意向を表現する能力は持ち合わせている利用者が多いですが、言葉にされない方も見受けられ、外出や食べ物や衣類などで要望があった場合は、個別対応で応えるよう配慮しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その様に勤めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の体調にあわせ散歩や過ごし方を変えている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	特に入院し帰ってきた場合や状態の変化季節状況を考慮している。	毎月月初に行われるケア会議を基本としてケアマネジャーが作成した計画案を職員全員で話し合い、最終的な介護計画の作成や見直し計画に仕上げています。居室担当は特別配置していませんが、個々の利用者にそれぞれ親しい職員があり、その職員の意見を参考にするようにしています。気付いたことはメモするようにして、計画に反映しています。変化は病院から戻った時に大きいようで、状況を考慮するようにしています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	共有連絡簿の活用で連絡ミスの無いよう勤めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じたサービスに直ぐ切り替える。柔軟な行動をとっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要に応じてそうしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院はなるべく変えないようにしている《近所なら》	協力医療機関は一人当たり月2回、往診してもらい、訪問看護は週1回活用しています。希望者には、週2回の訪問マッサージのサービスを受けています。同法人の友愛歯科で、訪問治療及び歯科衛生指導を受けています。精神科は薬の調整が難しく4病院（日野、保土ヶ谷、芹香、相原）を継続して受診している等、適切な医療を支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護と同じ訪問医なので連携がとれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院側と常に連絡を密に取りそうしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	必要に応じてそう勤めている。	利用者の終の棲家として、条件が整えば、看取り介護を行う方針です。重度化し、限界の所まで介護した上でご家族と相談し、医療行為が必要な場合は、医療機関に移る事もあります。重度化して万一の場合に、職員の対処法を文章化して、職員が対応できるよう準備しています。主治医は御殿山クリニックであり、看取りも可能としています。職員も看取りの心構えをもっています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員が皆さん経験豊かなため実践でいかせている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方と合同練習のほかホームにも来ていただきそのように体制を築いている。	年間2回の避難訓練を実施しています。近所の人にも協力を願い、町内地区会長・町内地区副会長、消防署に参加してもらい、実施しています。また、町内会の避難訓練にも参加しています。緊急マニュアルを用意し、緊急の対処を個人別に作成しています。スプリンクラーも設置しています。備蓄は、水、米、缶詰、衛生材料を備えています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念どうりのことなのでその様じっこうしている。	「自分の父・母としてお世話をする」ことを理念にも掲げ、管理者は、職員に日頃から指導しています。男性利用者に配慮した接遇を心がけ、利用者への職員の言葉遣いや振る舞いが、利用者の尊厳やプライドを損なわないように注意しています。トイレ使用中は表示して配慮しています。最近は利用者同士で互いの部屋を訪問して仲良くなるケースも生まれています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その様勤めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常にそのように理念どうりのことと思っている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に一度訪問理容を利用し職員にも元美容士がいるので常におしゃれにきをつかっている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に一度外食の日をもうけその方の好きなものを食べる日をもうけている。	食材は、週に一度、生協の宅配便を利用しています。メニューと調理は職員が行い、利用者の意見を聞きながら食事を作っています。利用者の重度化が進み、ミキサー食・刻み食の方も増え、外食が難しくなっていますが、介護施設が経営しているレストラン（あいしまの風の音）には、出かけることがあります。重度化に伴い、外食は1対1で出かけるケースも多くなっています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	共有スペースにポットを置き三度の御茶や摂取を観察し量の少ない方には声がけし摂取をうながす。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科クリニックの指導のもと各人にあったケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツにたよらず各人の時間を把握し声えがけにて事前にすれば失敗やおおむつ交換の手間がなくなる。	排泄表を記録し、利用者毎に排泄のパターンを把握し、声掛けにてトイレでの排泄を支援しています。利用者の半分がリハパン、半分は自立であり、トイレ誘導によりトイレでの排泄の成果もみられ、交換しないで済むよう努めています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	往診の先生と相談しながら、その状況に応じた処置をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	今は決め事に熱心な方が居る為順番や曜日を守るようにしている。	重度化により、2人での入浴介助の必要な利用者もいます。週2回の入浴を基本としており、3日に1回の入浴を支援しています。お風呂の日は、午前中も午後も個々の利用者のペースに合わせて、全員が入浴出来るようにしています。季節感を味わって頂けるよう、冬場のゆず湯などを実施しています。全員がお風呂は大好きです。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分の部屋に戻り気ままな時間をとることも各人に応じて対処している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	水分補給の少ない方を特に声掛けしその症状に応じた対処をする。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	サイホウの得意な方や植物の好きな方なるべくその方に応じた気分転換に対処してる		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩が一番のリフレッシュなので、常にコンビニや公園に出かけてる。	利用者の外出は、個人対応で行い、買い物や散歩の希望のある方には、個別対応をしています。ご家族と一緒に箱根等に遠出される利用者もいます。以前良く行っていた寿司屋の階段が利用者にとって昇り辛くなり、代わりに、介護事業者が運営している送迎付きのレストランに出かけるようにし、楽しめるように工夫しています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	今はお金を持つと異常行動に出る方が多いのでホーム管理としてる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙の書ける方は応援し年賀や、暑中見舞いをだしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	衛星や環境はその様なこと考慮し設計者に依頼した。	日中は、リビング・ダイニングで皆でテレビを見ながらリラックスして過ごしている光景があり、居心地良い寛ぎの空間作りがされています。台所はアイランド方式であり、周りを歩けるようになっており、リビング・ダイニングと対面して会話ができるようになっています。普通の家庭のように、自室、リビング・ダイニング、台所を自由に出入りし、居心地良い環境作りがされています。窓際には応接セット、大型テレビを配置し、一人でも寛げるスペースを確保しています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人テーブルも席を決め争いのないよう勤めてるまた仲間どうしで話し合う場所もある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	極力その様につとめている。	入居時に、ご家族の協力も得て、なるべく本人が使い慣れた家具や備品を持ち込み、利用者本人が居心地良く過ごせるよう配慮しています。衣類はカーテンをつけて保管し、自分の部屋作りをしています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各人で出来ること、台拭きやお茶いれ等出来る方は担当をきめている。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム友愛

作成日

2017年5月19日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	資格等の取得意識の向上	介護福祉士等の取得人員の増加	各資格取得への補助	平成30年3月31日

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。